

# The 21st CENTURY Museum Summit

かながわ円卓  
フォーラム

## 21世紀 ミュージアム・サミット - 文化の継承と創造

日時 **2004年 3月20日(土) 9:30~17:00**  
**3月21日(日) 9:30~11:50**

会場：湘南国際村センター 国際会議場(神奈川県三浦郡葉山町上山口1560)

日・英・仏  
同時通訳

主催：財団法人 かながわ学術研究交流財団、日本経済新聞社、独立行政法人 国際交流基金  
後援：文化庁  
協賛：資生堂、損保ジャパン、トヨタ自動車、三井物産、三井不動産  
協力：日本航空

### プログラム

#### 第Ⅱ部 1日目 2004年 3月20日(土)

- 9:30 開会挨拶  
福原 義春/財団法人かながわ学術研究交流財団 理事長
- 9:40 趣旨説明  
議長：高階 秀爾/西洋美術振興財団理事長・  
大原美術館長(元国立西洋美術館長)

#### セッション1「文化の継承」

- 10:00 基調講演  
「フランスに見るミュージアム、その現在と未来」  
フランソワーズ・カシャン/前フランス美術館総局長
- 10:20 討議
- 11:20 コーヒーブレイク

#### セッション2「文化と社会環境」

- 11:40 基調講演  
「地域社会における市民活動の担い手」  
クリーヴランド美術館」  
キャサリン・リー・リード/クリーヴランド美術館長
- 12:00 討議
- 13:00 昼食

#### セッション3「文化と市民社会」

- 14:00 基調講演  
「庇護か脅威か?—ミュージアムとマーケット」  
ロナルド・デ・レーウ/アムステルダム国立博物館長
- 14:20 討議
- 15:20 コーヒーブレイク

#### セッション4「文化の創造」

- 15:40 基調講演  
「信頼の視点から:ミュージアム、  
そのコレクション、市民、そして未来」  
ジェームズ・クノー/コートールド美術研究所館長
- 16:00 討議
- 17:00 第1日目終了

#### 第Ⅱ部 2日目 2004年 3月21日(日)

- 9:30 総括討議  
議長：高階 秀爾
- 10:30 コーヒーブレイク
- 11:00 最終討議  
議長：高階 秀爾
- 11:30 閉会挨拶  
福原 義春

※3月20日、21日開催のかながわ円卓フォーラムは  
関係者によるセミ・クローズド方式で行われます。

# The 21st CENTURY Museum Summit

シンポジウム

## 21世紀 ミュージアム・サミット - 文化の継承と創造

日時 **2004年3月19日(金)** 13:00~16:30

会場：日経ホール(東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社8階)

主催：日本経済新聞社、財団法人 かながわ学術研究交流財団、独立行政法人 国際交流基金  
後援：文化庁  
協賛：資生堂、損保ジャパン、トヨタ自動車、三井物産、三井不動産  
協力：日本航空

日・英・仏  
同時通訳

### プログラム

#### 第I部 2004年3月19日(金)

- 13:00 **開会挨拶**  
杉田亮毅 / 日本経済新聞社 代表取締役社長  
小倉和夫 / 独立行政法人国際交流基金 理事長
- 13:10 **基調講演**  
河合隼雄 / 文化庁長官  
「21世紀のミュージアム」
- 13:40 **パネルディスカッション**  
【コーディネーター】  
高階秀爾 / 西洋美術振興財団理事長・大原美術館長(元国立西洋美術館長)  
【パネリスト】
- フランス**  
フランソワーズ・カシャン / 前フランス美術館総局長  
「フランスに見るミュージアム、その現在と未来」
- オランダ**  
ロナルド・デ・レーウ / アムステルダム国立博物館長  
「庇護か脅威か? - ミュージアムとマーケット」
- イギリス**  
ジェームズ・クノー / コートールド美術研究所館長  
「信頼の視点から: ミュージアム、そのコレクション、市民、そして未来」
- アメリカ**  
キャサリン・リー・リード / クリーヴランド美術館長  
「地域社会における市民活動の担い手: クリーヴランド美術館」  
(途中15分の休憩)
- 16:30 **閉会**

## 基調講演



河合 隼雄

Hayao Kawai

## 文化庁長官

1928年兵庫県生まれ。臨床心理学者。京都大学名誉教授。京都大学教育学博士。2002年より文化庁長官。1952年京都大学理学部卒業後、アメリカ留学を経て、スイスユング研究所で日本人として初めてユング派分析家の資格を取得。日本におけるユング分析心理学の理解と実践に貢献。また、神話や昔話(ファンタジー)の研究も行い、海外の神話との比較研究、日本文化論等を臨床心理学者としての立場から国内外の講演等を通じて多く発表している。1982年の『昔話と日本人の心』で大佛次郎賞、1988年『明恵 夢を生きる』で新潮学芸賞受賞。その他『中空構造日本の深層』、『とりかへばや、男と女』など著作や論文は多数あり、近著として『ナバホへの旅 たましいの風景』、『臨床心理学ノート』、『神話と日本人の心』などがある。故小渕首相の私的諮問機関「21世紀日本の構想」懇談会の座長、教育改革国民会議委員、文部科学省顧問を務めるなど、日本の政治、教育に幅広く貢献している。1995年紫綬褒章受章、2000年文化功労者顕彰。

## コーディネーター



高階 秀爾

Shuji Takashina

## 西洋美術振興財団理事長・大原美術館長(元国立西洋美術館長)

1932年東京生まれ。1953年東京大学教養学部教養学科卒業。東京大学大学院在学中、1954年から59年までフランス政府招聘給費留学生として渡仏、パリ大学付属美術研究所およびルーヴル学院で西洋近代美術史を専攻。1959年国立西洋美術館勤務。1971年東京大学文学部助教授。1979年同教授。1992年国立西洋美術館長。2000年同退官。2002年大原美術館長。1992年東京大学名誉教授。1997年パリ第一大学名誉博士。1971年芸術選奨文部大臣賞、1972年翻訳文化賞、1981年フランス、芸術文芸シュヴァリエ勲章、1989年フランス、芸術文芸オフィシエ勲章、1996年フランス、芸術文芸コマンドール勲章、2000年紫綬褒章、2001年フランス、レジオン・ドヌール・シュヴァリエ勲章、2002年日本芸術院賞・恩賜賞、2003年イタリア、グランデ・ウフィチアーレ勲章などを受賞。

主著：『名画を見る眼』正統(岩波新書)、『ルネッサンスの光と闇』(中公文庫)

『日本近代美術史論』(講談社学術文庫)

『近代絵画史—ゴッホからモンドリアンまで』上下(中公新書)

『ルネッサンス夜話』(平凡社)、『20世紀美術』(ちくま文庫)

『フランス絵画史』(講談社学術文庫)、『芸術のパトロンたち』(岩波書店)

『西洋の眼 日本の眼』(青土社)、『バロックの光と闇』(小学館)他著書多数。

## パネリスト



フランソワーズ・カシャン

Françoise Cachin

## 前フランス美術館総局長(フランス)

フランス美術館連合の名誉会長(Honorary Director)。19世紀後半から20世紀前半のフランス絵画を専門とする美術史家。1968年にフランス国立美術館連合の学芸員、1986年にオルセー美術館長、1994年から2001年は文化省フランス美術館総局長を務めた。マネ、ゴッガン、スーラ、シニャックに関する著作も多く、これらの作家に関する作品カタログ(catalogue raisonné)を出版している。同氏は国際的な美術展を多く手がけており、クレール展(1970年パリにて)、イタリア未来派展(1973年パリにて)、マネ展(1983年パリ、ニューヨークにて)、ゴッガン展(1989年ワシントン、シカゴ、パリにて)、スーラ展(1991年パリ、ニューヨークにて)、セザンヌ展(1995年パリ、ロンドン、フィラデルフィアにて)、地中海派展(2002年パリにて)等が代表的なものである。



ロナルド・デ・レーウ

Ronald de Leeuw

## アムステルダム国立博物館長(オランダ)

国立ライデン大学にて美術史を専攻し、優等博士号を取得。1977年から84年までハーグ市、オランダ国立文化財コレクション展覧会部長、続いてハーグ市、オランダ政府美術庁首席学芸員、1986年から96年までヴァン・ゴッホ美術館(1990年にハーグ市メスダッハ美術館を併合)館長。1994年からアムステルダム自由大学にて博物館学・収集史の特命教授として教鞭をとる。1996年より現職。以来、国立美術館財団会長、オランダ国家助成美術館協会副会長のほか、2002年からは新オランダ国立美術館プロジェクト長も務める。ヴァン・ゴッホ美術館長在任期間には、19世紀フランス美術を中心とした展覧会を多数開催し、1990年にはヴァン・ゴッホ回顧展を開催した。さらに1991年、ヴァン・ゴッホ美術館の新館建設に際しては、建築家黒川紀章氏に建築を依頼し、その資金調達にも奔走した。1994年にはオランダ国内の国立美術館の民営化に尽力。1995年ハーグ市メスダッハ美術館を改築。1999年には国立美術館改修プロジェクトの2億7200万ユーロの資金を調達した。



キャサリン・リー・リード

Katharine Lee Reid

## クリーヴランド美術館長(アメリカ)

ヴァージニア美術館長を務めた後、2000年3月にクリーヴランド美術館長に就任。シカゴ美術館長補佐、副館長を歴任。ノース・カロライナ大学チャペル・ヒル校のアクランド美術館、シカゴ大学美術館、およびオハイオ州のトレド美術館で学芸員を務めた経験を持つ。同氏はヴァッサー大学を優等(magna cum laude)で卒業後、ハーヴァード大学大学院で研究。フルブライト奨学生としてソルボンヌ、パリ芸術・考古学研究所で、またフォード財団奨学金を得てトレド美術館で研究を行った。2000年から01年にかけて美術館長協会の会長を務めるとともに、同協会の評議員も歴任。美術館長協会評議員を二度務め、同協会の資格認定委員会の元メンバーでもある。現在、ヴァン・ゴッホ美術館とアメリカ芸術連盟の評議員を務める。



ジェームズ・クノー

James Cuno

## コートールド美術研究所館長(イギリス)

現在、コートールド美術研究所の教授兼館長。最近、シカゴ美術館会長および館長に指名され、2004年9月に就任予定。コートールド美術研究所は、美術史および芸術作品の修復・保存研究では英国で最も古く、かつ規模も最大で、中心的な研究所である。1991年から2003年までハーヴァード大学美術館の教授兼館長として国内・国際的な美術展の開催に加え、同美術館史上最大規模の資金調達活動を指揮し、新たに近代美術、現代美術、写真、イスラム芸術および古銭学の分野に学芸員のポジションを創設した。19世紀フランス美術から現代文化政策まで多岐にわたる分野の著作があり、講演活動でも活躍。最新の著作“Whose Muse? Art Museums and the Public Trust【美の女神ミューズは誰のものであるべきか?美術館とその公共の責任】”では、主要な美術館の館長5名によるエッセイが含まれ、公共機関としての美術館のあり方が追求されている。

# 21世紀ミュージアム・サミット

## 文化の継承と創造

### 「聴講のご案内」

文化の継承、創造、またその普及の役割を担う美術館、博物館のあり方が世界的な枠組みで変わろうとしています。独立行政法人化や新たな経営手法の開発は、どの国でも早急に取り組むべき課題であり、また同時に文化の担い手としてのアイデンティティの確立や人々とのコミュニケーションのあり方などについても、その新たな方向付けが求められています。

世界は今、在来の政治・経済的諸政策では解決できないさまざまな国際的な問題に直面し、永続的な平和を維持することが次第に難しくなっています。異なる文化や価値観を理解し合う必要性とともに、人類の英知を結集した新たな創造的発想の必要性がこれほど高まっているときはないでしょう。それには、今まで以上に文化のネットワークを緊密にし、異なる文化の相互交流を積極的に図らなければなりません。人類が積み上げ、紡いできた文化遺産の評価と継承、さらに次世代に伝える文化創造力の促進に力を合わせることで、世界を新しい時代へと導くために重要かつ急務であると思われまます。

こうした状況を踏まえ、本サミットでは、ヨーロッパおよびアメリカの主要な美術館・博物館長を招聘し、各国各館の特色や事情、現在取り組んでいる改革や今後の目標などを紹介するとともに、これからの課題について議論を深め、21世紀の美術館・博物館のあり方や文化の未来を展望します。

- 日 時：2004年3月19日（金）午後1時～午後4時30分
- 会 場：日経ホール（東京都千代田区大手町1-9-5 日本経済新聞社8階）
- 募集人数：300名（事前申し込みが必要です）
- 主 催：日本経済新聞社  
財団法人かながわ学術研究交流財団  
独立行政法人国際交流基金
- 後 援：文化庁
- 協 賛：資生堂、損保ジャパン、トヨタ自動車、三井物産、三井不動産
- 協 力：日本航空
- 入場無料

◆日・英・仏同時通訳

### プログラム

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 基調講演 河合隼雄 文化庁長官
- 13:40 パネルディスカッション  
【コーディネーター】 高階秀爾（西洋美術振興財団理事長・大原美術館長）  
【パネリスト】
  - ① フランソワーズ・カシャン（フランス・前フランス美術館総局長）  
「フランスに見るミュージアム、その現在と未来」
  - ② キャサリン・リー・リード（アメリカ・クリーヴランド美術館長）  
「地域社会における市民活動の担い手：クリーヴランド美術館」
  - ③ ロナルド・デ・レーウ（オランダ・アムステルダム国立博物館長）  
「庇護か脅威か？ミュージアムとマーケット」
  - ④ ジェームズ・クノー（イギリス・コートールド美術研究所館長）  
「信頼の視点から：ミュージアム、そのコレクション、市民、そして未来」
- （途中15分の休憩あり）
- （順不同）
- 16:30 閉会

都合により、講師・演題等が変更になる場合がございますのでご了承ください。